

中央地区のまちづくりに関する提言書（中間報告）

令和6年6月

登別市中央地区まちづくり協議会

目次

1. 中央地区まちづくり協議会の概要.....	3
2. 中央地区まちづくりの経緯.....	4
3. これまでの協議経過.....	5
4. 中央地区のまちづくりに関するコンセプトの決定.....	7
5. 提言の中間報告(協議事項②)について.....	8

資料編

資料1 中央地区まちづくり協議会委員名簿

資料2 中央地区まちづくり協議会ワーキンググループ委員名簿

登別市中央地区まちづくり協議会は、登別市新庁舎の建設に伴う現庁舎跡地の利活用を含む中央地区のまちづくりについて協議を行うため、令和4年11月25日に設置され、協議を進めてきた。

本提言書（中間報告）は、先行して協議することとなった「中央地区の商業施設の活性化」に関して協議会としての結論が出たことから、中間報告として提言するものである。

1. 中央地区まちづくり協議会の概要

- 設置日 令和4年11月25日
- 目的 登別市新庁舎の建設に伴う中央地区のまちづくりについて協議を行うため、登別市中央地区まちづくり協議会を設置する。
- 役割 現庁舎跡地の利活用を含む中央地区のまちづくりについて協議を行い、市に対し提言を行う。

○委員

委員名	委員数	任期
中央地区まちづくり協議会	14名	令和6年12月8日
中央地区まちづくり協議会ワーキンググループ	17名	
中央地区まちづくり協議会学生委員会	9名	

※協議会及びワーキンググループ委員は、中央地区の経済活動に深く関わっている団体及びまちづくりに積極的に関わっている団体等から委員を選出していただいた。

※学生委員会は、市内の専門学校及び高等学校から委員を選出していただいた。

○開催状況

協議会	ワーキンググループ	学生委員会
第1回（令和4年12月9日）	第1回（令和4年12月26日）	第1回（令和5年2月15日、22日）
第2回（令和5年6月13日）	第2回（令和5年1月31日）	第2回（令和5年2月27日）
第3回（令和5年7月24日）	第3回（令和5年2月20日）	
第4回（令和6年2月7日）	第4回（令和5年3月31日）	
第5回（令和6年5月15日）	第5回（令和5年4月26日）	
第6回（令和6年5月30日）	第6回（令和5年5月16日）	
	第7回（令和5年9月13日）	
	第8回（令和5年10月17日）	
	第9回（令和5年12月19日）	
	第10回（令和6年3月1日）	

2. 中央地区まちづくりの経緯

検討の開始（令和4年度～）

【検討の契機】

登別市本庁舎が位置する中央地区は、ショッピングセンターアーニスなどの商業集積地区だけではなく、本市の地理的、行政サービスの中心と考えている。

令和8年度中における登別市本庁舎が旧陸上競技場へ移転することが決定したため、現庁舎の跡地の利活用を含め、中央地区のまちづくりを考える絶好の機会と捉え、まちの未来を創るきっかけにするべく、協議を開始した。



【中央地区の地図】

市民・団体との意見交換



【各地区連合町内会との意見交換の様子】

現庁舎の跡地の利活用を含め、中央地区のまちづくりを考えるうえで、どのような意見・要望等があるのかを把握するため、各種団体の約40団体との意見交換のほか、各地区連合町内会や地区懇談会など、市民・各種団体との意見交換を実施した。

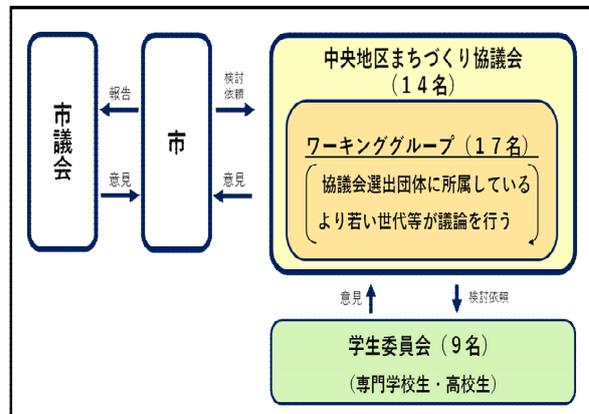
現庁舎跡地の利活用として多かった意見としては、宿泊施設、集会機能のある施設、子どもの遊べる・学べる施設などがあつた。これらの意見・要望等も検討材料としながら、協議会における協議を進めている。

協議会の設置（令和4年度）



現庁舎の跡地の利活用を含め、中央地区のまちづくりを協議するため、中央地区に関係の深い団体等で構成する登別市中央地区まちづくり協議会を令和4年11月25日に設置した。

また、次代を担う若い世代の意見・要望が反映できるよう若い世代を中心に構成するワーキンググループ、市内にある日本工学院北海道専門学校、登別青嶺高等学校、登別明日中等教育学校の学生・生徒で構成する学生委員会も設置した。上記ワーキンググループにおいて中央地区が目指すべき具体的なまちづくりの方向性などについて協議している。



【協議体制】

3. これまでの協議経過

検討の開始

【第1回協議会】

(令和4年11月25日開催)

第1回中央地区まちづくり協議会では、協議体制を含めた協議会の進め方、スケジュールなどの方向性に関する協議を行い、決定をした。

【協議体制】

協議会のほか、ワーキンググループや学生委員会を設置することも含めた、協議会の規約も協議会として策定した。

【スケジュール】

市が実施するサウンディング型市場調査の結果も参考としながら、令和5年12月頃までに報告書を取りまとめる予定。

コンセプトの協議

【第1～3回ワーキンググループ】(令和5年12月～令和6年2月開催)

コンセプトづくりに向けた協議を行った。

【第1、2回学生委員会】(令和6年2月開催)

学生・生徒から中央地区に関する意見聴取を行った。

【第4回ワーキンググループ】(令和5年3月31日開催)

中央地区の過去のまちづくり事例の紹介として、約30年前に中央地区のまちづくりに携わってきた成田幸久氏を講師に招き、当時の状況等を教わった。

【第5～6回ワーキンググループ】(令和5年4、5月開催)

コンセプトづくりに向けた協議を行い、3案を協議会へ提案することになった。

【第2回協議会】(令和5年6月13日開催)

協議会としてのコンセプトを「観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり」に決定。

中央地区のまちづくりに関する協議

【第3回協議会】(令和5年7月24日開催)

今後のワーキンググループにおける協議事項として次の3項目を決定した。※②を優先協議

- ① 現庁舎、アーニス周辺的环境整備
- ② 中心地にある商業施設の活性化
- ③ 現庁舎跡地の具体的な利活用方法

【第7、8回ワーキンググループ】(令和5年9月、10月開催)

協議事項②に関する協議等を行い、中心地にある商業施設ショッピングセンターアーニスに図書館本館を移転する意見が多くあったことから、その実現性について確認をするため、次回図書館に詳しい方を呼ぶこととなった。

【第9回ワーキンググループ】(令和5年12月19日開催)

協議事項②に関して、図書館長及び図書館協議会委員より、中心地にあるアーニスに図書館本館を移転する案等について意見を伺った。



【第4回協議会】(令和6年2月7日開催)
ワーキンググループにおける協議状況を報告した。

【第10回ワーキンググループ】(令和6年3月1日開催)
協議事項②に関して、アーニスに図書館本館を移転する案で取りまとめがあった。

【第5回協議会】(令和6年5月15日開催)
ワーキンググループにおいて取りまとめた提言書(中間報告)案を報告し、第6回まちづくり協議会において最終的な意見交換を行うために、各所属団体に持ち帰り協議することとした。

【第6回協議会】(令和6年5月30日開催)
第5回協議会において、各所属団体が協議した内容について意見交換し、アーニスに図書館本館を移転する案で概ね意見が集約されたことから、提言書(中間報告)とし、承認を得た。

【中間報告】

4. 中央地区のまちづくりに関するコンセプトの決定及び協議事項

○中央地区のまちづくりに関するコンセプトの決定

ワーキンググループで取りまとめたコンセプト案(3案)

案①「つながるまち つなげるまち つたわるまち つたえるまち」

案②「まちと温泉、人と人がつながり、未来をつむぐまちづくり」

案③「いつでもだれでもほっと一息ふらっと行きたくなるまちづくり」

協議会におけるコンセプト決定

『**観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり**』

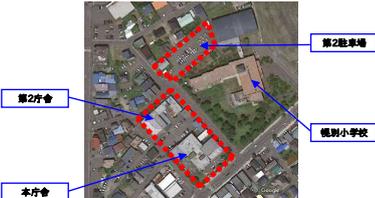
<コンセプトに込められた想い>

観光とまち、人と人がつながり、つなげていくことで、人が集まり知恵を出し合い、にぎわい溢れるまちを皆で創り上げ、さらに、そのすばらしいまちを次の世代へとつなげていきたい。

また、どの世代の人でもホッとできる目的がなくても行きたくなるようなまち、一度登別を離れても戻ってきたくなるまち、そのような魅力ある温かい(ホッとする)まちになってほしいとの想いを込めた。

今後は、このコンセプトを基本方針として協議を進めていくこととなる。

○中央地区のまちづくりに関する協議事項

<p>①現庁舎、アーニス周辺的环境整備</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり ・観光客の誘客 ・イベントの実施 	
<p>②中心地にある商業施設の活性化</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーニスの空きスペースの効果的な活用 ・未利用地や空き店舗の利活用 ・中心地への具体的な誘客方法 	
<p>③現庁舎跡地の具体的な利活用方法</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設 ・多機能な商業施設 ・イベントができる広場 	

5. 提言の中間報告（協議事項②）

現在、登別市中央地区まちづくり協議会及びワーキンググループにおいて協議されている3点の協議事項のうち、②「中心地にある商業施設の活性化」について提言する。

3つの協議事項のうち協議事項②について先行して協議をすることとなった理由については以下の2点である。

- ① 中心地にある商業施設とは登別中央ショッピングセンターアーニスのことと考え、アーニスに現在入居している市の観光経済部が登別市新庁舎完成後に移転することから、その空きスペースを含め商業施設の活性化というものが中央地区のまちづくりにとって、非常に重要な課題になると考えている。アーニスは商業施設ということもあり、できるだけ未活用である期間が短くなるようにしていく必要がある。
- ② 仮に公共施設として整備するとなった場合には、国や北海道の補助制度の活用も検討していくこととなるので、できるだけ早急な方向性の決定を行う必要がある

以上の点から他の協議事項よりも先行して協議を行い、中間報告として提言することとした。

なお、アーニスは民間の施設であるため、協議事項としてアーニスの活性化を協議することに対してアーニス推薦により協議会等に参加いただいている委員に確認したところ、ぜひ協議を行ってほしい旨の発言があった。

ワーキンググループにおいて、協議事項②を協議するにあたり、過去に市内のまちづくり団体に所属していた方から協議会委員宛てに提出された中央地区のまちづくりに関する提案書にアーニスに図書館を含めた複合施設を設置し、そこを中心としたまちづくりを目指す案などがあったことから、検討材料の1つとしてワーキンググループの委員に紹介し、協議を進めた。協議においては、商業施設に文化施設を誘致することで、さらなる集客が期待できるとの意見のほか、文化への興味の高まりが購買意欲に繋がるとの意見など、アーニスに図書館を設置することに肯定的な委員が多いことから、昨年12月に実施したワーキンググループにおいて、図書館に詳しい方として図書館協議会の委員及び図書館長に参加いただき、「図書館の機能と役割」に関して図書館長に講演いただいた後、仮に図書館本館をアーニスに移転とした場合の良い点・課題点について説明をいただいた。その内容及び課題点に対する中央地区まちづくり協議会としての考え方を下記に整理している。

良い点	課題点
● 駐車場が確保できる ● 配架のゆとりが持てる ● 図書館が「サードプレイス」としての位置付けができる など	● 十分な面積確保ができるのか ● アーニスの耐震性、耐荷重性は問題ないのか ● バリアフリー化がなされていないのではないか など

<課題点に対する考え方>

課題点	課題点に対する考え方
十分な面積確保ができるのか	アーニス側にも確認したところ、2階の市観光経済部が抜けた跡地も含めて現在の本館及びアーニス分館よりも広い面積を確保できる見込みである。
アーニスの耐震性、耐荷重性は問題ないのか	耐震性については、図書館本館に比べてアーニスの方が優れている。耐荷重性はレイアウト等にもよるところだが、開架書庫に配架できる冊数はアーニスの方が多くすることができる見込みのため、機能移転は可能と考えている。
バリアフリー化（正面玄関の自動ドア化）	アーニス側に確認したところ、以前より課題点であったため、自動ドアに改修することで進めている。

また、ワーキンググループにおける協議事項②の結論に至った際に、委員より図書館の移転やアーニスに対する意見等があったので、その内容を整理する。

<ul style="list-style-type: none"> ●学習スペースをメインとした世代間交流ができるような図書館にしてほしい ●幅広い世代が利用できるように子どもの遊べるスペースがほしい ●図書館を移設して終わりではなく、人が集まるようなことを考えていくことが重要 ●現在の図書館はエレベーターがないので、障がい者の方が困っているとの声を聞いているので、図書館の移転には賛成 ●能登半島地震もあり、耐震性の低い図書館を使用していくことは結構なリスクがある。市の財政状況で建て替えることが難しいのであれば、建てられるようになるまでアーニスに移転することは現実的に考えるといいのではないか。
--

さらに、図書館の設置がまちづくりという観点でどのような影響があるのかについては、全国的にも図書館を核としたまちづくりを進めている事例は多くあり、実際に宮崎県都城市や青森県つがる市など、整備後の来館者数が大幅に増加している事例もある。市民に限らず市外の方も含めた来館者数の増加は、商業施設の活性化につながるだけでなく、商業施設の周辺にもその波及効果を期待することができるものと考えられる。

施設内写真	事例内容
	<p>【宮崎県都城市】 図書館を核とした複合施設 <来館者数(年間)> 見込:27万人 ⇒ 実績:110万人超</p>

施設内写真	事例内容
	<p>【青森県つがる市】 イオンモール内に図書館を設置 <来館者数(年間)> 目標:20万人 ⇒ 実績:30万人</p>

このことから、課題点はあるものの、その課題点は解決していくことが可能な見込みであること、さらに他自治体でも図書館を核としたまちづくりをしている事例があり、集客力の増加に伴いまちの活性化という観点で期待できるものと考えます。

なお、令和6年第1回登別市議会定例会の一般質問において、現在の図書館本館のハード面における課題点として、市教育委員会では次のとおり説明している。

施設設備面	機能面
<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターがなく、ユニバーサルデザインに対応できないこと ●書庫、開架スペース、閲覧席、学習席、作業スペースなどが不足していること ●駐車場が少ないこと ●バス停から遠いこと <p style="text-align: right;">など</p>	<p>狭隘であることに起因し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●常時、配置などを工夫しているものの、誰もがわかりやすい配架が難しいこと ●食事や談話ができるスペースが無いこと <p style="text-align: right;">など</p>

以上のことから、中央地区まちづくり協議会としては、協議事項②「中心地にある商業施設の活性化」について、ショッピングセンターアーニス内に市立図書館本館を移転し活性化を図るという結論を提言する。

協議事項②「中心地にある商業施設の活性化」に対する提言



ショッピングセンターアーニス内に市立図書館本館を移転し活性化を図る

～資料編～

資料I

中央地区まちづくり協議会委員名簿(敬称略)

	氏名	選出団体等名	役職
1	斎藤正史	登別商工会議所	会長
2	大野 薫	一般社団法人登別国際観光コンベンション協会	
3	亀谷和人	登別中央商店会	
4	大橋幸人	らいば商店会	
5	田中敏博	協同組合登別中央ショッピングセンター	
6	名畑泰昌	登別中央飲食店組合	
7	宮崎克宣 (松崎英樹)	北海道銀行	
8	福島弘久 (堀内 謙) (中田信也)	室蘭信用金庫	
9	藤江紀彦	社会福祉法人登別市社会福祉協議会	
10	仲川弘誓	登別市市民自治推進委員会	
11	鳴海文昭	登別市連合町内会	
12	西尾拓也	のぼりべつ元鬼協議会	副会長
13	相沢拓矢 (渡辺哲也)	一般社団法人登別室蘭青年会議所	
14	橘井健佑	日本工学院北海道専門学校	

※()内は前委員になります

資料2

中央地区まちづくり協議会ワーキンググループ委員名簿(敬称略)

	氏名	選出団体等名
1	寺島 真一郎	登別商工会議所
2	中平 将	一般社団法人登別国際観光コンベンション協会
3	亀谷 和人	登別中央商店会
4	大橋 幸人	らいば商店会
5	田中 敏博	協同組合登別中央ショッピングセンター
6	名畑 泰昌	登別中央飲食店組合
7	増屋 愛美	北海道銀行
8	堀内 謙 (中田 信也)	室蘭信用金庫
9	津田 歩美	社会福祉法人登別市社会福祉協議会
10	佐久間 将之 (川田 翔太郎)	登別市市民自治推進委員会
11	竹中 修嚴	登別市連合町内会
12	川田 弘教	のぼりべつ元鬼協議会
13	相沢 拓矢 (渡辺 哲也)	一般社団法人登別室蘭青年会議所
14	橘井 健佑	日本工学院北海道専門学校
15	鈴木 雄登	会長推薦
16	望月 啓一郎	会長推薦
17	小和田 奈々	会長推薦

※()内は前委員になります